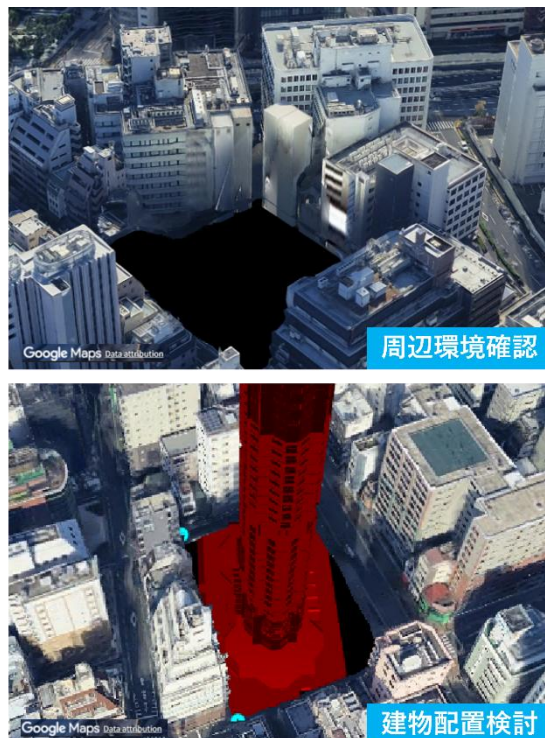
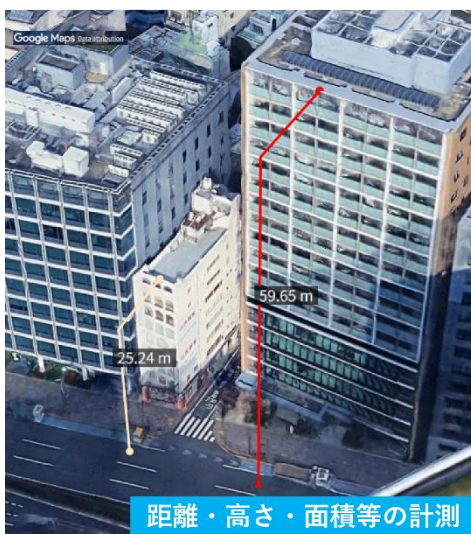


シーラにてダイナミックマッププラットフォームの 3Dmapspocket®が採用 不動産開発プロセスの効率化を支援

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO:吉村 修一、以下「当社」)は、当社が提供する総合 3D 空間プラットフォーム「3Dmapspocket®」が株式会社シーラ(本社:東京都渋谷区、代表取締役 CEO:湯藤 善行、以下「シーラ」)へ採用されましたことをお知らせします。

「3Dmapspocket®」は、当社が取得した全国の高速道路・自動車専用道路・主要幹線道路の 3 次元点群データと Google Photorealistic 3D Tiles を統合し、ブラウザ上で計測・分析・配置などの複合的な空間検証をワンストップで行える総合 3D 空間プラットフォームです。実世界に限りなく近い高精度な 3D 空間データを扱える点を特長としており、建物配置の検討や周辺環境の把握、距離・高さ・面積等の計測など、不動産開発における多様な検証が可能です。

シーラにおいては、アクイジション(仕入れ)から設計デザインまでの一連の業務での活用を予定しています。3Dmapspocket®により、現地確認や資料作成に必要な情報を 3D 空間上で直感的に把握できることから、現地調査や検討業務の効率化に加え、関係者間での円滑な情報共有や合意形成への貢献が期待されます。



当社は、不動産開発分野における「3Dmapspocket®」の展開を進め、仕入れから設計に至る業務プロセスの効率化に貢献してまいります。

<ダイナミックマッププラットフォーム株式会社について>

当社は日本政府によるバックアップのもと、国内自動車メーカー10社等の出資により設立されました。日本をヘッドクォーターに、北米・欧州・中東・韓国に拠点を構え、現在26ヶ国で事業を展開。自動運転や先進運転支援システム(ADAS)をはじめ、シミュレータ環境構築、インフラ管理、除雪支援など、幅広い用途に向けて高精度3次元データを提供しています。

「Modeling the Earth」=地球のデジタル化をビジョンに、高精度3次元データのプラットフォームとして、様々な産業分野におけるイノベーションを共創します。

設立: 2016年6月

本社: 東京都渋谷区

代表者: 吉村 修一

事業内容: 自動運転・ADASをはじめ多様な産業を対象とした高精度3次元データの提供

公式サイト: <https://www.dynamic-maps.co.jp/>

公式 X: https://x.com/dynamic_maps